

踏切の急勾配改善

市民団体 交渉重ね実現

「阪急上新庄駅のバリ
アフリーを求める東淀川
区連絡会」は同駅南口の
エレベーター設置などを
求めて、阪急電鉄本社と
話し合いを重ねてきまし
たが、下新庄駅北側の踏
切で急勾配だった場所の
改善を求め、このほど改
善工事が完成し、自転車
や車いす利用者、デイス
ービスの運転手などに喜
ばれています。

淡路駅立体交差化に伴
い、下新庄駅北川の踏切
に仮線路が敷設されまし
たが、線路を横切った所
が急勾配になっていまし
た。同連絡会はことし4
月の交渉で、車や自転車
が走りにくいことを指
摘、勾配を緩やかにする
よう求めていました。交
渉の約2週間後、改善工
事が一部行われ、5月に
は全面的に改善しまし

た。交渉には、日本共産
党の岩崎賢太大阪市議も
同席しました。
同連絡会は、「階段で
ころんだけがをした」「高
齢者には長い階段がきつ
い」「赤ちゃんを抱いて、
ベビーカー持ったの上り
下りは大変」「阪急上新庄
駅南口にもエレベーター
が欲しい」などの地域住
民の声を聞き、要望を実
現しようと2012年4
月に発足。地元町会、団
体、個人などの協力と、
上新庄駅前での定期的な
署名行動で、4年余りで
約8千筆以上の署名を集
め、阪急電鉄本社に届け
てきました。

連絡会は、上新庄駅南
口へのエレベーターの設
置場所や利用者の要望に
基づいて提案、沿線での
阪急施設の利用などでも
提案してきました。